2026 年6月発行　第 61 号

# 播磨まちかどニュース With いなみ野学園 瓦版

兵庫県いなみ野学園では、大学院生などの受講生が自主制作として、地元ケーブルテレビ局「BAN-BAN テレビ」と協働し、テレビ番組「播磨まちかどニュース With いなみ野学園」を制作しています。学園内外の魅力的な活動を映像で紹介する１５分の番組です。 瓦版では、これまでの配信動画の内容を紹介しています。

## ★★最新の配信動画★★

現在、いなみ野学園ホームページに掲載している動画をご紹介します。

**播磨まちかどニュース with いなみ野学園１２２　◆配信日：令和８年５月１日◆**

## 令和8年度いなみ野学園大学講座・大学院講座入学式

４月のスタートは「入学式」から。いなみ野学園の「入学式」の模様をお伝えします。

４月６日（月）、午前１０時から大講堂で令和８年度の「入学式」が行われました。学園のシンボル「しだれ桜」や周囲の桜が華やぎを添えて、新入生の門出を祝ってくれる素晴らしい日となりました。

１０時、大西武彦兵庫県生きがい創造協会業務執行理事兼副学園長の司会進行で「入学式」が始まりました。国歌斉唱の後、橋本正人（まさひと）生きがい創造協会理事長兼いなみ野学園長から「入学許可」があり、大学講座入学生２２２名、大学院講座７０名、陶芸学科専修コース３１名、計３２３名のみなさんが今年度いなみ野学園に入学されました。

初めに橋本学園長からの「式辞」がありました。橋本学園長は、佐藤一斎の『言志四録』から、「少にして学べば、即ち壮にして為すことあり、・・・・老いて学べば、即ち死して朽ちずの言葉のように、高齢者になっても学びを続けることが何より大事です。頑張って下さい」と話されました。

続いて、齋藤元彦兵庫県知事からの「挨拶」

がありました。

斎藤知事は、「ここいなみ野学園は生涯学習の拠点として、総合的・体系的に学べる場です。どうぞ専門性を高めて地域の実践者となってください。仲間と共に充実した学園生活を送られることを心から願っています」と話されました。

続いて、片山大介兵庫県議会議員の「祝辞」が述べられ、「いくつになっても向上心を持ち、生きがいやり甲斐を持つことは本当に素晴らしいことです。それが地域の活力にもなります。頑張って下さい」とエールを送られました。

この後は、「来賓紹介及び祝電披露」があり、来賓のみなさんから「おめでとうございます、がんばってください」とお一人お一人お祝いの言葉をかけていただきました。

そして、いよいよ式も終わりに･･･。
在校生を代表して岩瀬忠晴大学院自治会会長から「歓迎の言葉」があり、「大勢のみなさんのご入学、おめでとうございます。どうぞ楽しんで下さい」と後輩を激励されました。

それに応えて、入学生を代表して井岡　伸大学講座健康づくり学科1年生が「喜びの言葉」を述べられました。「本日より歴史と伝統のある学園で学べることができてうれしいです。健康に留意して、クラブ活動等にも積極的に参加し、仲間の輪を広げ、有意義な学園生活を送っていきたいです」と話されました。

式の最後には、コーラス部のみなさんが学園歌と歓迎の歌を披露してくれました。コーラス部のみなさんは、新入生を祝う素晴らしい歌声を大講堂いっぱいに聴かせてくれ、会場からも大きな拍手が沸きました。
「入学式」が滞りなく終わり、新入生のみなさんはそれぞれのクラスへ移動していきます。教室では記念撮影が行われました。

式後、迎える側を代表して村上俊之大学自治会長にインタビューし、村上さんは、「知事をはじめ国会議員、市会議員の皆さま方に来ていただきました。学園の重みと素晴らしさを感じました。300 名を超える入学者を迎えられてとてもうれしく思っています」と話されました。
また、新入生の井岡　伸さんにもインタビューをしました。井岡さんは、「桜満開のいい季節に入学ができてうれしいです。仲間のみなさんもみな、活き活きとさているのにビックリしました」と答えられました。
いよいよ今日からいなみ野学園の仲間として、クラブ活動、自治会活動、そして、いなみ野祭などの行事も共に大いに楽しみましょう。がんばりましょう。そこでひとこと、「学べる場があり、集える仲間がいる、高齢者にとってそれが一番しあわせなこと」
どうぞ大きな一歩を踏み出してください。
この後最後は、視聴者のみなさんからの播

磨地域の「桜だより」です。姫路城の桜、さくらの森公園の桜、水辺の森公園の桜、稲美町曇川沿いの桜、日岡山公園の桜、加古川教信寺の桜、そして最後にいなみ野学園のしだれ桜です。

（ナレーション　大前小夜子）

---

**播磨まちかどニュース with いなみ野学園１２３　◆配信日：令和８年５月１６日◆**

# ～仲間と歩む、心ゆたかな学びの旅～

## 今年度の抱負を語る

---

今回、新年度（令和８年度）のスタートにあたり、いなみ野学園の新たな動きについて紹介しましょう。併せて、大学自治会会長村上俊之さん初め、関係のみなさんの今年度の「抱負」についても語ってもらいました。

４月６日（月）に「入学式」があり、323名のみなさんが入学されました。

そして一週間後４月13日（月）には「クラブ紹介」があり、新入生のみなさんへの各クラブのアピール、そしてクラブの勧誘活動が行われました。

それについて、直接関わった村上大学自治会長にお聴きしました。

MC；新入生を迎えて各クラブとも大張り切りの様子でしたが、会長さんはどんな感じを受けましたか？

村上：クラブ・同好会併せて41、部員総数は800名で、「我がクラブに入って欲しい」と、お互いが争奪戦のようで、どこも熱心でしたね。午前中は大講堂で41クラブ・同好会のPRを。午後からは外での勧誘活動が行われ、さながら「ミニ文化祭」のようで、とても賑やかでワクワク感が感じられました。

MC；勧誘する方も力が入り、新入生も「しっかり聴いてから選ぼう」とお互いが引き合いしている感じでしたね。でも、みなさんとてもウキウキとしていました。

ところで、新自治会長として、今年度の抱負と言いますか、今後力を入れていきたいことは何でしょうか？

村上：「スポーツ大会」と「いなみ野祭」、この２つに特に力を入れていこうと思っています。ただ、近年の酷暑を踏まえ、「スポーツ大会」を 12 月にずらしました。そのため 11 月「いなみ野祭」、12 月「スポーツ大会」と、ビッグイベントが２カ月間に集中することになりました。「いなみ野祭」は中身的にマンネリ感もあって、先輩方には申し訳ないですが、そこを変えていきたいと考えています。「賑わいの創出」をサブスローガンにして、役員が一致協力してがんばろうとスタートを始めています。

MC：今の話を聴いて、今年度にかける会長としての思いと意気込みが感じられました。また、完成に近付けていくという力強さも伝わってきました。どうぞ、成功に向けてがんばってくださいね。

村上：がんばります。応援よろしくお願いします。

MC：村上会長を先頭に、役員のみなさんも一致協力をされて新体制がスタートしました。果敢にチャレンジして新たなことも取り入れていって欲しいと心から願います。有難うございました。

ところで、いなみ野学園では新年度の人事異動がありました。新しく着任された「生きがい創造協会業務執行理事兼副学園長」の大西武彦さんにも着任の挨拶をお聴きしました。

大西；広いキャンパスに樹木や花が咲き、自然環境豊かなところで、校舎も木造平屋建ての趣きのある建物に感動しました。学生のみなさんも、クラブやサークル活動を一生懸命にやっているのを見て、私も将来そうしたいなあと思いました。視聴者のみなさんもどうぞ「いなみ野学園」を覗いてください。

MC：ここは最後の締めとして、「生きがい創造協会理事長兼いなみ野学園長」の橋本正人さんに「今年度の抱負」をお聴きしました。

橋本：「いなみ野学園」は昭和 44 年創立の全国に先駆けての４年生高齢者大学です。50 年を超える歴史を持ち、卒業生も 2.5 万人を超え、在校生の大学生・大学院生も 1000 人近くいます。更にその上には研究生もいます。

一生にわたっての学びの場。学習活動や自治会・クラブ活動など、学生のみなさんは生き生きと楽しんでいます。是非、視聴者のみなさんも一緒に学びませんか。また、「話し方講座」や「AI 講座」など公開講座も開催します。一般の方々も受講できますので、どうぞお越しください。

MC：橋本学園長、大西副学園長、そして村上大学自治会長の３名のみなさんから「抱負」をお聴きしました。それぞれに今年度にかける思いが伝わってきました。トップに立つみなさんに、私たちも一緒について行こうと強く思いました。

そこでひとこと、「やるぞ、がんばるぞ、そんな意気込みに、みんなで一緒に神輿を担ぎましょう」

（ナレーション　吉川　千代子）

**【いなみ野学園　動画配信ホームページ】**
https://www.hyogo-ikigai.or.jp/ikigai/video/video_inamino_summary.html

**≪編集・発行≫**

**兵庫県いなみ野学園　ビデオ制作委員会（いなみ野学園大学院講座・研究生）** ☎079-424-3342